

## 予算の執行とその概要

国においては、600兆円経済の実現、基礎的財政収支（プライマリーバランス）の黒字化及び債務残高対GDP比の安定的な引下げを目指すとともに、誰もが生きがいを持って充実した生活を送ることができる一億総活躍社会の実現に向けた施策に取り組んできました。GDPは名目、実質ともに増加しており、企業収益は過去最高を記録するとともに、就労者数の増加、賃上げなど、雇用・所得環境は大きく改善し、経済の好循環が実現しつつある一方で、国・地方の債務残高がGDPの2倍程度に膨らみ、国債費が毎年度の一般会計総額の2割以上を占めるなど、引き続き厳しい状況が続いています。

こうした状況にあって、本市においては、平成30年を「改革と成長の年」と位置付け、改革と成長を合わせ持った芦別創生を目指し、市政運営のテーマである「市民の福祉増進と財政の健全化」に意を用いながら、市民の安全・安心な暮らしと力強く伸びるまちづくりを進める意を込め「安暮強伸」予算と銘打ち、「第5次芦別市総合計画」及び「芦別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる事業の推進、並びに行政サービスの維持向上、地域経済の活性化、雇用対策に必要な予算を計上しました。

予算の執行に当たりましては、重点施策に掲げた行政改革・財政改革・市政改革のうち、特に、財政改革の主要テーマである財政の健全化に向けて、身の丈に合った財政運営を行うとともに、収支均衡を保つ財政構造への転換を図ることを目指して鋭意努めてまいりました。